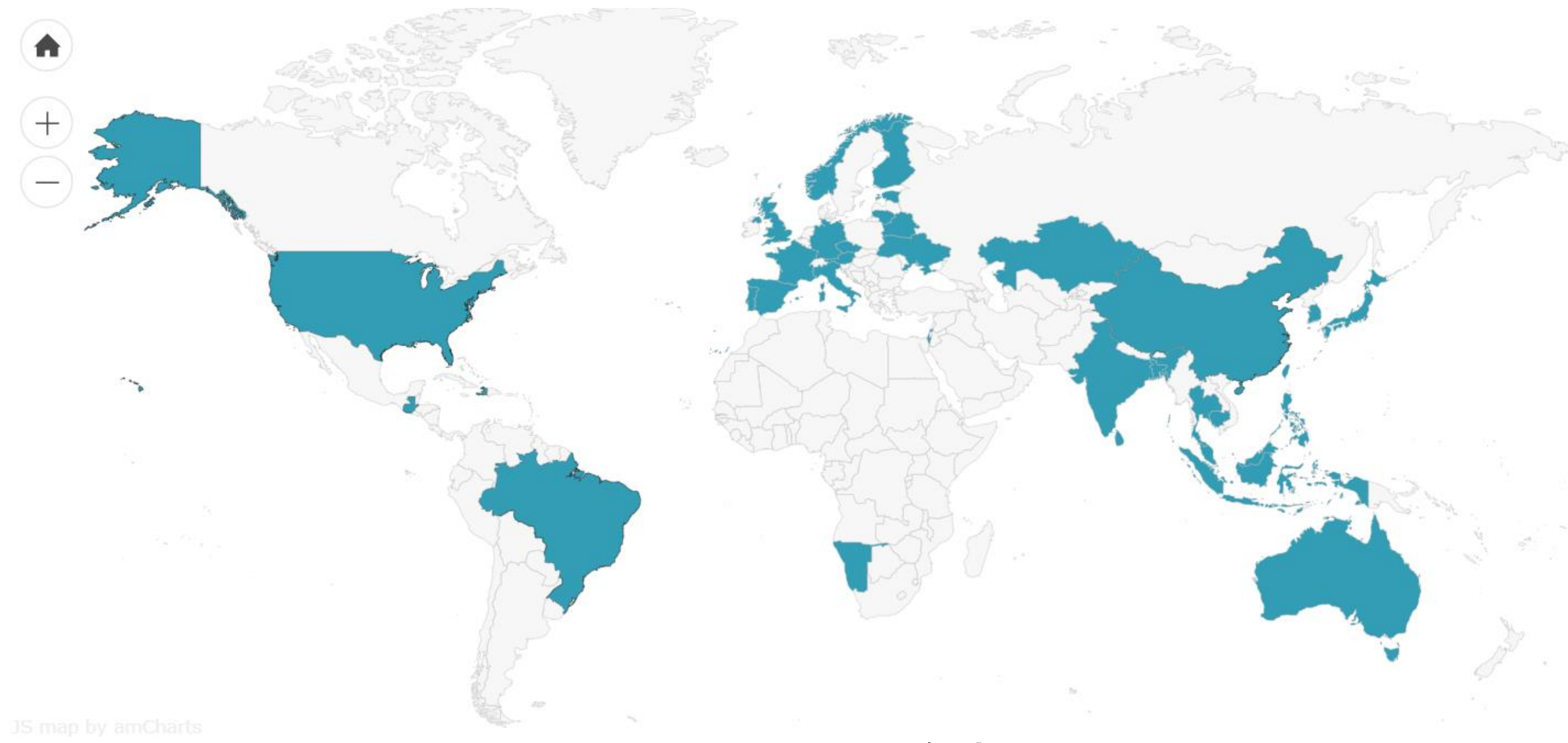


国際地学オリンピック (International Earth Science Olympiad, IESO)とは、高校生のための地学の国際大会です。私は2017年夏に開かれた第11回国際地学オリンピックに日本代表として参加しました。ここに、この大会について報告いたします。

IESO2017の基本情報

- ・日程は2017年8月22日から29日までの8日間でした。
- ・開催地はフランス南東部のコートダジュール地方でした。コートダジュール地方は地中海に面しており、ニースやカンヌなどの保養都市があります。
- ・29か国の国・地域から108名の高校生が参加しました。日本からは4名が参加しました。



IESO2017の参加国

IESOの中身

1. 試験

個人で地学の筆記試験と実技試験を解きます。問題はもともと英語ですが、メンターの先生方（引率の先生方）が徹夜(!?)で日本語に翻訳してくださいます。

2. ITFI (International Team Field Investigation, 国際協力野外調査)

異なる国の選手6~8人からなるチームで野外調査をして、成果をスライドにまとめて発表しました。

3. ESP (Earth Science Project)

ITFIと同じメンバーで、与えられたテーマについてインターネットで調べ物をして、手書きのポスターにまとめて発表しました。

4. その他

開会式、講演会、研究室訪問、ハイキング、映画鑑賞、天文台見学、鍾乳洞・工場見学、表彰式、ニース観光、二夜にわたるフェアウェルパーティなどなど、とても充実していました。

IESOまでの道のり

以下にIESO2017までの流れを紹介します。まず、国内大会である日本地学オリンピック (Japan Earth Science Olympiad, JESO)が開かれ、国内大会で日本代表に選抜されると、いくつかの事前研修を経て国際大会に参加することができます。これは2017年の日程なので、現在とは異なる可能性があります。詳しくは地学オリンピック公式サイトをご覧ください。

時期	予定	備考
9月~11月中頃	申し込み	中学1年生から高校3年生まで参加申し込みすることができます。参加したいと思っている方は忘れずに応募しましょう！
12月	JESO予選	マークシート方式の2時間の試験を解きます。
3月	JESO本選	予選の上位約60名がつくばで行われる本選（2泊3日の合宿）に進めます。試験は記述式で、地質、固体地球、気象、海洋、天文、標本鑑定（鉱物・化石）に分かれていてそれぞれ30分間で解きます。試験は半日で終わり、それ以外は講演会、地学関係の施設の見学などがあります。夜中に地学オリンピック本選参加者どうして自由に交流することができますが、これが参加者にとっておそらく一番の楽しみです。
3月	代表最終選抜	本選の上位10名が本選の終了直後に行われる代表最終選抜に参加することができます。選抜試験の内容は、英語での地学の試験、英語での討論、面接でした。そしてこの翌朝にIESOの日本代表4名が発表されます。
4月~8月	通信研修	IESOの英語版過去問を解いて答案を提出し、それに基づいて指導を受けました。国際大会の問題を英語で解くのは大変でしたが、この研修を通して、地学力と英語の語彙の両方を伸ばすことができました。
5月	合宿研修（野外）	秩父で野外実習を行います。
8月	合宿研修（屋内）	筑波大学で3日間みっちり講義を受けます。
8月	IESO	いよいよIESOが始まります！

IESO2017の報告

8/20 直前研修&壮行会

都内で直前研修を受け、その後の壮行会で地学オリンピック関係者の方々から激励をいただきました。この日は前泊をして、明日の出発に備えました。

8/21 フランスへ

羽田空港から、ミュンヘン経由でコートダジュールに行きました。コートダジュール空港では、日本チームを担当する大学生ボランティアの川さんが出迎えてくれました。川さんは、英語と日本語がペラペラなドイツ人女子大学生で、大会期間中とてもお世話になりました。空港からバスで移動して宿舎に着くとすぐに、外部との通信ができないように電子機器はすべて回収されてしまいました。

8/22 開会式

開会式や講演会、研究室訪問がありました。講演会では彗星探査機ロゼッタのお話や、ヨットの冒険家のお話を聞くことができました。



開会式後の集合写真

8/23 エクスカーション

各国のメンターたちが必死に試験の準備、翻訳を行っているなか、選手の生徒たちは気楽に、石灰岩などの露頭を見て回ったり、フレンチアルプスでハイキングをしたりしていました。バス移動中はイタリア代表たちがずっと歌を歌っていて、その陽気さにひたすら圧倒されていました。

8/24 筆記試験

まず午前中に3時間、筆記試験を受けました。内容は開催地の近くにあるVar平野の地質にまつわるものでした。ただ解くだけだと考えていたので、特に緊張はしておらず、むしろ若干の眠気を感じていました。ところが、問題を読み始めると、並んでいるのは、何を聞いているのか分からない問題ばかりで、1周目では結局ほとんど解けませんでした。2周目でようやく問題の意味がつかめ、一つひとつの問題を真剣に考えていたら、あっという間に3時間が経っていました。その後、昼食のときに他国の選手に試験の感想を聞いてみると、ほとんど皆が難しかったと言っていた中、タイ代表の1人が普通だったと言っていて、私は耳を疑ってしまいました。

午後の2時間の筆記試験は海洋、月の地形、土星の衛星エンセラダスの地質活動に関するもので、午前と比べて解きやすい問題でした。

8/25 実技試験

今回の実技試験は岩石、気象、天文、地質の4分野に分かれて、それぞれ1時間半でした。試験問題には日本語訳がついていましたが、口頭での指示は英語のみだったので、器具の使い方などがよく分からず、試験監督を質問攻めにしてしまいました。地質分野の実技試験は、定められたいくつかの地点で地質の観察を行った後、その観察にもとづいて選択式問題を解くというスタイルだったのですが、信じられないくらい難化していて、みんな「撃沈」していました。

8/26 ITFI

チームでCaussolsという石灰岩地域に行き、“What were the parameters that favored the settlement of humans in the Caussols area?” 「人間がCaussols地域に住み着くのを促進した要素は何だったか？」というテーマで野外調査をしました。私は野外調査の経験はあまり無かったのですが、チームのメンバーと協力して色々と調べて回りました。

8/27 ITFI, ESP発表準備

この日の朝、ついに電子機器が返却されました。このときの各国選手の喜びようを見て、電子機器が好きなのは世界共通なのだと感じました。この日は1日中、屋内で、ITFIとESPの発表の準備をしました。ちなみにESPのテーマは“How knowledge of Earth System Science would help us inhabit other planets?” 「私たちがほかの惑星に住居するのに地球システム科学の知識はどのように役立つだろうか？」でした。

8/28 ITFI, ESP発表会

カンヌ市内にある航空宇宙系の企業タレス・アレーニア・スペースから場所を借りて、チームごとに審査員たちの前でITFIとESOの発表を行いました。

午後はカンヌ市内をバス観光しました。カンヌ映画祭のレッドカーペットもばっちり写真に収めることができました。

この日の夜はフェアウェルパーティの第1夜でした。各国がダンスや歌などの出し物を披露して、ほかの国の選手たちも一緒に踊ったり歌ったりして、大盛り上がりでした。

8/29 表彰式&ニース観光

表彰式の前のスピーチで、今大会の実行委員長がIESOの参加者や関係者は一つのFamilyだというようなことを言っていたのですが、私が涙もろかったら、泣き出してしまふようないい話でした。

そしてついに、表彰式が始まりました。参加者の上位10%に金メダルが、それに次ぐ20%に銀メダル、それに次ぐ30%に銅メダルが与えられます。試験でいくつか失敗をしていましたが、メダルの色は金か銀ぐらいになるかなと思っていました。銀のときに名前が呼ばれなかったのが金なんだろうなと思っていたら、思っていた通り金のときに名前が呼ばれ、金メダルを獲得することができました。金メダル受賞者で記念写真を撮るとき、日本国旗を忘れてしまったので代わりに隣のスペイン代表に頼まれてスペイン国旗を持って写真に写りました。日本代表は、金メダル2枚、銀メダル2枚という成績でした。

表彰式の後には、いよいよ、今大会の参加者の誰もが楽しみにしていたに違いない、ニース観光でした。地中海の水に触れるまで日本には帰れないと思っていたのですが、このとき、ようやくニースのビーチで地中海の水に触れることができました。

この日の夜はフェアウェルパーティの続きで、日本代表はソーラン節とPPAPを披露しました。PPAPは参加者のほぼ全員が知っているほどの知名度を有していました。

8/30 フランス出発

各国の選手とお別れをして、コートダジュール空港に向かいました。所持金が結構余っていたので、空港でお菓子を大量購入しました。コートダジュール空港から、行きと同じくミュンヘン経由で羽田空港に戻りました。

8/31 帰国&文部科学省表敬訪問

羽田空港に到着し、昼食をとった後、文部科学省に表敬訪問に行きました。水落敏栄副大臣にお会いして、お話や記念撮影などをしました。



筆記試験の様子



ITFIメンバー



フェアウェルパーティ



日本代表



金メダル受賞者